

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

智頭町長 金 兒 英 夫

市町村名 (市町村コード)	智頭町 (313289)
地域名 (地域内農業集落名)	井上地区 (井上集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

令和4年5月実施の農業・農地に関するアンケート調査によると、当地区の農業者の平均年齢は70.7歳であり、町平均の70.1歳とほぼ同じであるが、およそ6割が後継者のめどが立っておらず、現状では管理できているものの、将来への不安は大きい。現状を維持したいとの意向はあるが、高齢化により、農作業への負担感が増加している。

また、担い手自体が不足していることから、条件が良くても耕作されていない農地が増加している。鳥獣被害、水の確保ができないなど、営農の継続を阻害する要因も多い。

## (2) 地域における農業の将来の在り方

農地として維持していくよう、地域を超えて広域で担い手を確保していく。  
耕作が安定してできるよう、鳥獣対策をや水の確保などを補助事業を活用しながら進める。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	8.3 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	7.9 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

智頭町大字三田(井上集落)地内で、小規模な畑を除き、現在耕作が行われている比較的条件の良い農用地とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針 地域での話し合いを継続し、検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方針 状況にあわせて検討する。
(3)基盤整備事業への取組方針 河川の工事により、水路を見直す。(安定した水量)
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針 地域を超えて、耕作希望者を募る。 安定した農業収入ができるような取組を検討し、担い手確保につなげる。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針 活用できる事業者があれば検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

①補助事業等を活用し、鳥獣被害対策を実施する。

# 井上地区目標地図



目標地図(確定)

- A
- B
- C
- D
- E
- F
- G
- H
- I
- J
- K
- L
- M
- N
- O
- P
- Q
- R
- 検討中農地